

- ・追加・変更箇所は**赤字**で表記。改訂日付は最新のみを記載。
- ・このメモから、ご自身の必要箇所を楽譜に転記するなど有効活用して下さい。

初版 2024/06/11

改訂 2025/01/07

【The Golden Vanity】変更と注意事項

<曲を通じて>

- ・演奏方針：テンポは Moderato。マーチよりゆっくりが譜面の指定（本番のテンポ感は今後検討）。
- ・曲想：3回の転調がある難しい曲。楽しいノリの楽曲。ノリの表現のためきちんと歌詞を入れておく。

<全般事項>

- ・8分音符×2（タタ）と付点8分+16分音符（パ〜ッカ：跳ねる感じ）を譜面通り使い分ける。
- ・単語の発音：
 - ship はシッフ° (ʃíp)。(シーフ° ʃi:p は羊)。
 - Spanish enemy は明瞭に発声 enemy は 'enəmi (エナミー) エネミーではない。
 - Golden Vanity 固有名詞、楽曲のタイトルでもあるのでしっかりと聴衆に伝わるよう。
 - 5小節 fear'd は「フィアド」フェアドではない。
- ・不協和音（例えば、19小節3拍目のT2「G」とB1「F」）は、きれいにぶつける。
- ・よくしゃべって、ただしワチャワチャベチャベチャ横にならないように。特に、**land** のようなロングトーンや、**sea** のような閉口音（狭くなりがち）は**ちよつとでも横に広がると耳について悪目立ちする。**
その際、音符の粒を立ててエッジ効かせること（流れるような歌い方ではない）。
- ・7,17,27,37小節の「land」のフェルマータはしっかり伸ばす（ラーアーアーン）で素早くプレス。
- ・**8-9,18-19,28-29,38-41 (rit.の前まで) 小節は少しテンポ上げるので乗り遅れないように。**
それどころか、勝手にスローダウンしがち。指揮みて遅くならないように。
- ・pの表記を意識するよりも「はっきり楽しく元気よく」歌うことを優先（pでも音量は小さくしない）。
- ・歌のストーリーを理解して、それを表現するために歌詞をきちんとしゃべれるように。
- ・8分音符で刻む箇所は、拍の頭（表）を強く揃える。そうすれば走らないし、英語っぽく聞こえる
(15小節の例：I swim long of を強く、would a side the を弱く、のイメージ)。

<個別事項>

(A)

- ・B2 7小節までをB1パートを歌う。
- ・6小節 全パート 4拍目は「As she」を8分音符+8分音符で。

・8小節（以降 18,28,38,40 も同じ）T1T2 は半拍遅れ（> Low-land）できちんと入る。

この入りがコンマ何秒か遅れる。B1B2 を聞いて入るのはよいが、じっくり聞きすぎると遅れる。

・10小節 全パート sea のフェルマータ が息切れしないように豊かに伸ばして。

(B)

・B1B2 歌詞読みに集中して走らないように。

・B1B2 10小節（Cから）Fに正しく上がるように（低くならないように意識）。

・B1B2 11-17小節 発音を縦にキープ（13小節 captain など）。

・14小節 B1B2 4拍目の「If」は4分音符で意外に長いので突っ込まないように。

・16小節の and（アーアンド）は、8分音符×2（跳ねない）。

・18小節 T1T2 Low-land Low,And の Low と And はつなげず切る（他小節も同様）。

転調後の最初の入りなので、転調していることを意識して音に注意。

B1B2 出づらいつ低い音域ほど、喉仏を下げ口腔を大きく開けないと響いた声が出てこない。

T1 頭の音「C」は、17小節4拍目のオクターブ上を意識すれば音をとりやすいはず。

(C) 雰囲気が変わるセクション

・全パート エッジを効かせマルカートで勇壮感を出して（Captainがboyに言っている歌詞）。

・全パート ブレス前の音符がブツ切れ（22小節 gold が「ゴ、」など）。ギリギリまで伸ばして素早くブレス。

・B2 22小節 3拍目は「D」ではなく「B」。4拍目 譜面通り E♭→F（C→E♭ではない）。

・T2 22小節4拍～24小節3拍 音程を正確に。

23小節 2拍裏は「F」に下がる。細かい動きだが、こうしたところを大切にすることが重要。

・T1 24小節 2～3拍（C→E♭→F）は単独だと難しいが、メロディを聞くと合わせやすいかも。

・B1 24小節 3拍目「be」のAの音が下がりすぎないように。

・26小節 全パート 4拍目 And は、跳ねているのに注意。（16小節は跳ねてない）

・T2B1 27小節 3拍目～ B1「E」とT2「F」がぶつかっているのでつられず互いにしっかり主張して。

・B1 28小節～30小節3拍 F→G→F→♭E→F（land は ♭Eに下がる）。

・T1 29小節 G→F→E♭→D→C→C。（3拍目 CはE♭に行きたい感じだが、Cに下がる。）

（これは複数回指摘：うろ覚え、聞き覚え、パターンではなく、譜面通りに歌うことが重要。）

・T2 29小節「LowのB」は前の「the」と同じ音

・B2 29小節 上の「E」の音量がもう少しあった方がよい（人数の割り振りは大丈夫？）

(D)

- ・T2B1 内声 2 パートでかつちりしたハーモニーになっている。互いによく聞いて寄り添って。
- ・30～34 小節は結構複雑なので、各パートがしっかり音程をキープすることが重要になる。
- ・T2 32 小節 1,2 拍目が消えがち。自信もって。
- ・B1 32 小節 4 拍目「And he」は B2 とユニゾン。

33 小節の 1 拍目 (C) は T1T2 と同じ音。前の小節から幅広く飛ぶが上がり切っていない。高めを意識して出す。B2 の「A」に行かないように。

- ・B2 33 小節 1 拍・2 拍の 8 分音符 4 つは音程をクリアに刻む（曖昧にしない）。
★特に 2 拍の裏は「♮E」。「♭E」に下がりすぎないように。
- ・34 小節 3 拍目の 4 分音符は原則譜面通り。

4 拍目の 8 分休符は、「無音を演奏する」メリハリをつける。（休符は「休み」ではない）

B1 34 小節 1,2 拍目「F」は取りづらいかもしれないが、B2 と同じ音。

・35 小節～36 小節の 2 拍目まですべて 8 分音符、跳ねない。間違うと超目立つので。。

- ・36 小節 「side he bored holes three」の発音は難しい。慣れるまではカナで対応。

・T2B1 37 小節 「her in」 → ダラーツと流さずハ・ア イ・イン と、16 分音符できちんと表現する。

- ・T1 38 小節～は大きな音よりも、きれいに、を意識して。

- ・B2 38～42 小節 上パート、音はあっているのでしっかり響かせて。

下パートは喉を締めて「L」を発音することより、大きく開けてガンガン響かすことを優先して全集中。

- ・T1 39 小節 1 拍目は「♭A」意外に高くない（前の he「G」の隣の音）。

- ・39,41 小節 T1T2 sank her は、サンク ハー。（サンカー ではない）。

T1 3 拍目は前と同じ「♭E」。D に下がらないよう。